



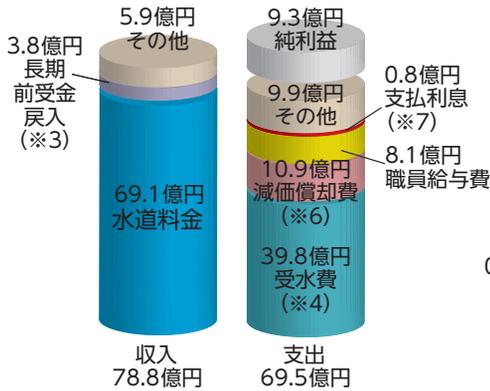
### 平成28年度 水道事業会計決算

平成28年度水道事業会計決算の財政状況

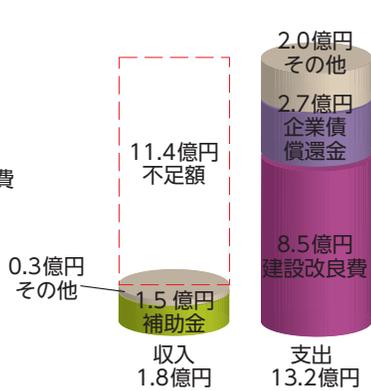
収益的収支について、9.3億円の純利益を計上し、企業債償還のための減債積立金や施設更新のための建設改良積立金へ積み立てています。

資本的収支において、企業債の借入を行ってならず、さらに、資本的収入額が支出額に不足する額11.4億円は、純利益で積み立てた減債積立金や建設改良積立金で補てんできず、財政状況は順調に推移しています。

#### 収益的収支 ※1 (税抜き)



#### 資本的収支 ※2 (税込み)

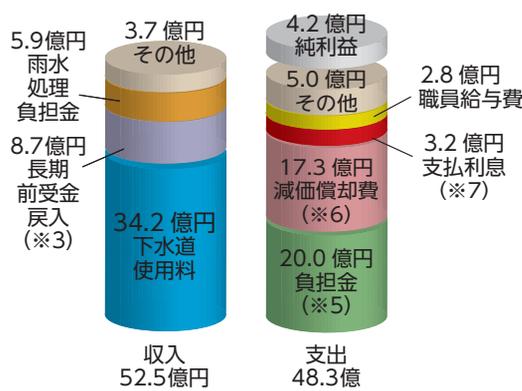


### 平成28年度 下水道事業会計決算

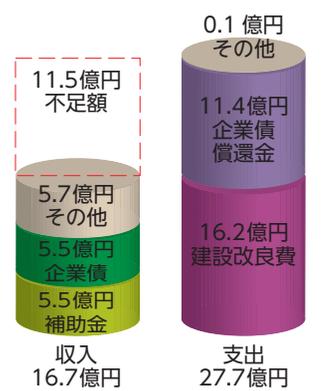
平成28年度下水道事業会計決算の財政状況

収益的収支について、4.2億円の純利益を計上し、減債積立金へ積み立てています。資本的収支において、企業債の借入を行っており、さらに、資本的収入額が支出額に不足する額11.5億円は、純利益で積み立てた減債積立金では補てんできず、施設更新の財源である内部留保資金で企業債償還をしていることなどから、厳しい財政状況となっています。

#### 収益的収支 ※1 (税抜き)



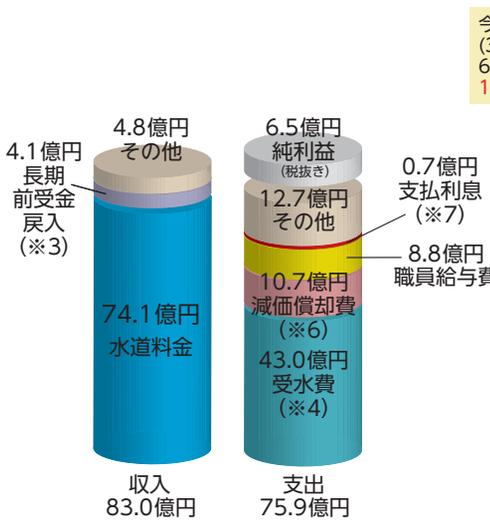
#### 資本的収支 ※2 (税込み)



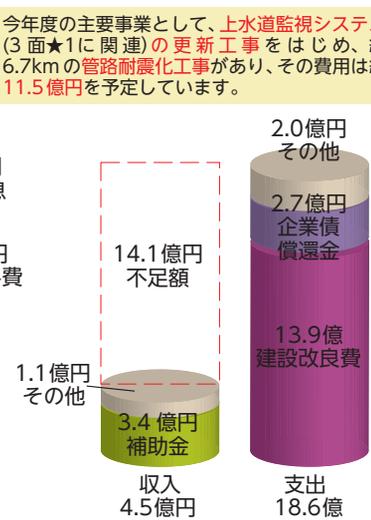
資本的収入のうち、0.5億円は翌年度繰越工事の財源

### 平成29年度 水道事業会計予算

#### 収益的収支 ※1 (税込み)



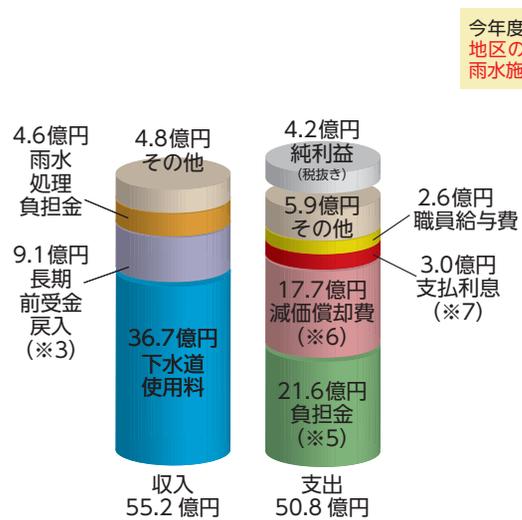
#### 資本的収支 ※2 (税込み)



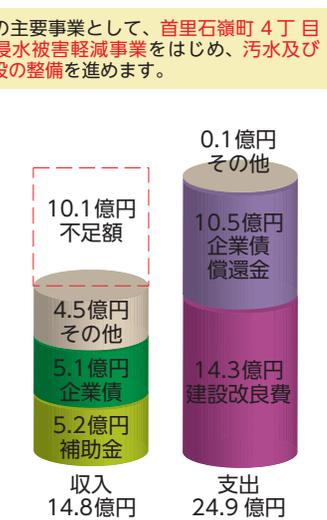
今年度の主要事業として、**上水道監視システム**(3面★1に関連)の**更新工事**をはじめ、約6.7kmの**管路耐震化工事**があり、その費用は約**11.5億円**を予定しています。

### 平成29年度 下水道事業会計予算

#### 収益的収支 ※1 (税込み)



#### 資本的収支 ※2 (税込み)



今年度の主要事業として、**首里石嶺町4丁目地区の浸水被害軽減事業**をはじめ、**汚水及び雨水施設の整備**を進めます。

#### 【用語の説明】

- ※1 収益的収支 → 事業を運営するための財源と経費
- ※2 資本的収支 → 施設を新設・更新等するための財源と経費
- ※3 長期前受金戻入 → 償却資産(※8)の取得・改良のために受けた補助金等の収益化分 (非現金収入)
- ※4 受水費 → 沖縄県企業局から購入する浄水費
- ※5 負担金 → 沖縄県の下水道施設使用に伴う費用等
- ※6 減価償却費 → 施設の価値減少分
- ※7 支払利息 → 企業債等の借入れに伴う支払利息
- ※8 償却資産 → 固定資産のうち、毎年度減価償却を行うべきもの

水道料金、下水道使用料には将来の施設更新費用も...

水道や下水道の収入が不足する額がどのくらいある？

不足額は、前年度の利益を積み立てたものや**減価償却費**などで補てんするんだ。

償還金とか、利息とか借金の返済も多いね。特に下水道は...

借金はいらないほうがいいけど、施設を建てるには多額の費用が必要になるのだから、将来の建設費用は将来の使用者にも負担してもらって返済にあてているんだよ。

なるほど。僕たちが払っている水道料金は、下水道使用料には、施設を更新するための費用も含まれているんだね。

※減価償却費とは... 施設の価値の減少を費用として計上したものです。実際には現金の支出を伴わないので内部に留保されるしくみになっており、施設を更新する際の補てん財源として利用できます。

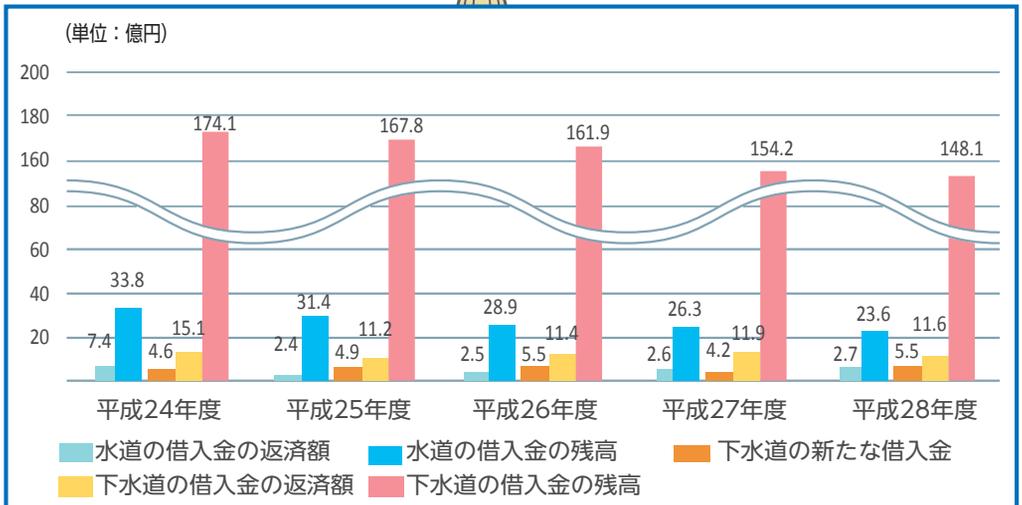
## 企業債残高について

水道事業に比べると、下水道事業は借入金※1の残高が非常に大きいことがわかります。下水道の普及率は現在98.1%に達していますが、ここまで来るために莫大な費用が投じられてきた結果が右のグラフに表れています。

水道事業、下水道事業ともに、平成24年度から平成28年度にかけて借入金の残高は年々減少しています。いずれも、公的資金補償金免除線上償還で高金利の借入金を返済したことが大きな要因です。水道事業では新たな借入を行っていないのに対して、下水道事業では新たな借入が続いているものの、返済金の額の方が大きくなっています。

借入金の返済は純利益※2を減債積立金に積み立てて行いますが、下水道事業ではそれだけでは足りないため、将来の下水道施設の更新のための内部留保資金をも返済に充てており、莫大な借入金残高が残っていることもあり、大変厳しい財政状況が続いています。

※1 借入金 → 企業債による外部資金の借入分  
※2 純利益 → 事業の経営活動した結果生じた利益(※純利益には非現金収入の長期前受金戻入が含まれています。)



【お問い合わせ】 企画経営課 TEL:941-7802